

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 斜里飽寒別地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「斜里町農村環境整備マスタープラン」より）

【現状】

斜里町は、知床国立公園、網走国定公園、斜里岳道立自然公園等緑環境に恵まれ、「みどりと人間の調和」を町是とし、農業、漁業、観光の自然産業により成立している環境と調和した町である。

地域は、宇遠別川、斜里川、奥薬別川、糠真布川、遠音別川など約30数本の河川がオホーツク海に流下し、それら河川流域は概ねが森林を形成し、鳥類・魚類の格好の生息場所となっている。

【課題】

地球にやさしい農村環境を目指すため、土地改良事業は環境にやさしい手法、負荷を軽減する工法で最大限の効果を求めていく必要がある。

《環境保全の基本的考え方》（「斜里町農村環境整備マスタープラン」より）

維持し続けたい農村部の広大な原風景（半自然）、国有林・民有林で連続していく防風保安林、減りつつある畑地の中の防風林で構成・連続していく緑空間を質量とも拡大し、健全で快適な環境を実現する。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

- 調査位置の考え方
以下のエリアに区分し調査位置を設定。
 - ・海岸寄りの排水路改修予定区間
 - ・新設排水路と既存防風林の交差部
- 調査項目の考え方
 - ・海岸寄りの排水路改修予定区間
既往調査結果の活用を基本とする。
ただし、本事業で想定している整備によって、生育・生息環境に直接影響を与える
と想定される魚類、底生動物及び植物並びに調査が不足している鳥類及び水質について
現地調査を行う。
 - ・新設排水路と既存防風林の交差部
既往調査結果の活用を基本とする。
ただし、本事業で想定している整備によって、生育環境に直接影響を与え、調査が
不足している植物について現地調査を行う。

《環境調査内容》

○調査項目 ①鳥類 ②魚類 ③底生動物 ④植物 ⑤水質

○調査方法 鳥 類 : ポイントセンサス法
魚 類 : 採捕調査
底 生 動 物 : 定性採集法
植 物 : 植物相調査
水 質 : 濁度、SS